

三条通 デザイン・ワークショップ

「2030年の三条通の空間像を考える」

近年、都市の公共空間としての道路の役割が見直されており、人のためのまちづくりが進められています。プレイスメイキングやシェアードスペースの取り組みは全世界的な潮流であり、国内外で、道路空間の積極的な活用や道路空間再配分が急速に進められています。そして、新型コロナウイルス感染症の流行は街路のオープン化やシェアをさらに加速化させており、ポストパンデミックの都市空間の可能性が模索されています。

三条通では、歩車共存道路や街灯整備など、愛着あるまちを育む道づくりが行われてきました。いま、電線地中化・無電柱化の検討が進められ、歴史と文化に支えられた品格のあるまちづくりをさらに前進させる重要な契機となっています。

10年後、20年後、三条通はどのようなになっているでしょうか。日本を代表する通り、世界に誇るシンボルストリートになっているのでしょうか。ここに、地域住民と専門家、若者たちのCO-デザインの社会実験として、「2030年の三条通の空間像を考える」デザイン・ワークショップを企画しました。その成果は「三条通デザイン提案ブック」として発行し、今後のまちづくりに活かします（※本企画の成果が実際の事業に直接反映されるということではありません）。

これからのまちづくりを担う皆様からの参加をお待ちしております。

講師



泉英明氏
(ハートビートプラン)



泉山塁威氏
(日本大学/ソトノバ)



岩瀬諒子氏
(岩瀬諒子建築事務所
/京都大学)



山口敬太氏
(京都大学)

コラボレーター：京の三条まちづくり協議会のメンバー

主催：三条通デザイン・ワークショップ実行委員会

共催：京の三条まちづくり協議会

後援：京都市

協力：NPO法人京都景観フォーラム

事務局：三条通エリアマネジメント検討会議

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂

(京都大学社会基盤工学専攻 景観設計学研究室内)

4-DAYワークショップ+シンポジウム

2020/8/9(日)・8/10(月祝)・9/12(土)・10/10(土)

2020/11/28(土)

会場：京都市景観・まちづくりセンター、ワークショップルーム

※オンラインでの講義・演習になる可能性があります(COVID-19の影響のため)

対象者：学生もしくは30歳以下の社会人で、4日間のワークショップと成果発表会に参加出来る方。
定員16名。定員を超える場合は提出資料をもとに参加者を選定させていただくことがあります。
(その場合は、新型コロナウイルス感染症対策のため、関西圏の方を優先いたします。)

講習費：学生5,000円、社会人15,000円

(デザイン・ワークショップ記録「三条通デザイン提案ブック」1冊分含みます)

募集期間：7月1日(水)～7月31日(金) 必着

参加申込：下記グーグルフォームに、以下の内容をご入力ください。

- ①氏名、②所属、③年齢、④専門(出身 学部など)、⑤デザイン演習経験の有無、⑥メールアドレス、⑦電話番号、⑧居住地(市町村)、⑨アイデアシート

グーグルフォームアドレス<https://bit.ly/3eD8atj>(QRコードからアクセスできます)

アイデアシートは、三条通の将来像について文字や図などを用いて、A4の1頁で自由に表現してください。

問い合わせ先：三条通デザイン・ワークショップ実行委員会・事務局(sanjo.dw2020@gmail.com)

参加申込は
コチラから



演習課題

対象範囲:コアゾーン
エリア

三条通(新町通～寺町通)
新町通～寺町通/姉小路通～六角通を含むエリア

課題内容:京の三条まちづくり協議会「地域景観づくり計画書」(2017年)には、三条通の歴史と特性、京の三条まちづくり協議会の活動内容、沿道の規制内容のほか、住民が大切にしていることとして、品格のある三条通を守り育てるための6つの心得(歴史と文化、感性、まちなかの自然、多様性、創造性、ひとのつながり)が示されています。これまでのまちづくりの考え方や活動をふまえつつ、これからの未来に起こりうるさまざまな変化にいかに対応し、歴史都市・京都、人中心の歩くまち・京都にふさわしい都市空間をつくりあげていくかが問われています。2030年代、歩いて楽しい通りやまちなかの広場は、エリアの価値や発信力を高めるためにどのような役割をもち得るでしょうか。また、どのような姿・形、仕組みをもち得るでしょうか。講師のファシリテーションのもと、京の三条まちづくり協議会のメンバーとの協働で、新時代の街路のあり方を検討し、その空間像を描くことを課題とします。

DAY1

8月9日(日)

10:00～16:30

※午前中ウイングス京都
セミナー室B

- 10:00- 12:00 オープニング 山口敬太 氏(京都大学准教授/三条通エリアマネジメント検討会議)
京の三条まちづくり協議会の取組と三条まちあるき 清水響 氏(GK京都)
- 13:30- 15:00 泉山壘威 氏(日本大学助教/一般社団法人ソトノバ共同代表理事・編集長)レクチャー *
「豊かな日常的な街路のためのアイデアとヒント」
- 15:00- 16:30 ワークショップ・アイスブレイク (講師:泉山, 山口) 「三条通の可能性について感じたこと」
ファースト・インプレッション, ファースト・スケッチ

DAY2

8月10日(月祝)

10:00～16:30

- 10:00- 11:00 山口敬太 氏(同上) レクチャー*
「祝祭空間化する都市の公共空間」
- 11:00- 12:00 中矢昌希 氏(中央復建コンサルタンツ) レクチャー*
「歩くまち京都の過去と未来 - 京都市心部の交通と歩行環境」
- 13:30- 16:30 デザイン・ワークショップ (講師:泉山, 山口) 「街路の可能性を拓く」
テーマの発表, テーマの選択, グループ分け, テーマ別ディスカッション

DAY3

9月12日(土)

10:00～17:00

- 10:00- 12:00 泉英明 氏(ハートビートプラン代表取締役) レクチャー*
「新しい日常をつくる - 街路を使いこなすアイデアとマネジメント」
- 13:30- 17:00 デザイン・ワークショップ (講師:泉, 岩瀬, 山口) 「新しい日常を構想する」
新たな日常のシーンと、多様な主体が協働するための仕掛けとステップを検討する。
将来像に対する現状の課題, 検証項目と社会実験の可能性など

DAY4

10月10日(土)

10:00～17:30

- 10:00- 12:00 岩瀬諒子 氏(岩瀬諒子設計事務所/京大建築学科助教)レクチャー*
「もの かたち ひと 風景 - デザインとその射程」
- 13:30- 17:30 デザイン・ワークショップ (講師:岩瀬, 泉, 山口) 「2030年の風景を描く」
インターフェイスとマテリアライゼーション, ビジュアライゼーション

*京の三条まちづくり協議会・京都歴史文化施設クラスター実行委員会主催の京の三条まちづくりカフェとの連携企画

シンポジウム 11月28日(土)13:30～17:00

「三条の未来を構想する」

会場:京都府京都文化博物館和室(4階)
(※オンライン配信の可能性あり)

- 13:30-14:00 趣旨説明及びWS全体の振り返り
- 14:00-16:00 デザイン・ワークショップ中間成果発表会
トークセッション(クリティーク)
- 16:00-17:00 ラウンド・トークセッション